

*売れない時代でも成長する方法はあります！

%company%

%free1%

%free2%

%name_sama%

■中小企業経営者列伝、第10弾。5回シリーズ

社長史名將の軌跡

世界シェアトップを誇る岡本硝子の挑戦

岡本硝子株式会社

第三代代表取締役社長 岡本毅氏

◆第1回 ガラスの時代を牽引する岡本毅氏を形成したもの

岡本少年が社長になるまで

◆第2回 怒涛の警察官僚時代

◆第3回 岡本硝子(株)・三代目社長の紆余曲折

オンリーワン企業への歩み

◆第4回 岡本硝子(株)に打ち付ける逆風

◆第5回 ガラスの時代に向けて

創業 100 周年、そして 200 年企業への道

~~~~~  
◆第5回 ガラスの時代に向けて・・・最終回

創業 100 周年、そして 200 年企業への道

目次

\*コロナ禍が岡本硝子にもたらしたもの

\*時代の変化にあわせて生き残る

\*第三成長期をもたらすガラスの可能性

\*岡本毅の言葉 一人ではない

\*岡本毅の言葉 岡本硝子へ贈る言葉

\*コロナ禍が岡本硝子にもたらしたもの

新型コロナウイルスの拡大により、DX 化や非接触化が加速し、

オンラインが主流となったことで、岡本硝子のプロジェクター関連製品の需要が減少した。

しかし岡本氏は、この状況をチャンスでもあると捉え

「こういう状況だからこそ求められるものは何か？自分たちでなければできないことは何か？」  
と自らに問い、事業転換を加速した。

・例えば、「深紫外線反射膜」製品の開発にそれは表れており、  
岡本硝子のコア技術の一つである「硝材開発技術」を活かし、  
新型コロナウイルスを不活性化できる、UV-C 帯域を効率良く反射するものを開発した。  
このフリット(ガラスの粉末)を使用した製品は 5G 通信基盤用のグリーンシートにも応用されるなど、  
新たな需要創出が進んでいる。

これらの取り組みは、付加価値の高い製品への転換として位置付けされ、  
岡本硝子は『はばたく中小企業・小規模事業者 300 社』に選定されたが、  
岡本氏はそれに甘んじることなく、さらに試行錯誤を重ねながら、スピードアップして  
より高付加価値の製品を開発するために、より本質的な転換が必要であると語る。

\*時代の変化にあわせて生き残る

もっとも強いものが、生き残るのではない

もっとも賢いものが、生き残るのではない

唯一生き残るのは、変化できるものである

これはイギリスの生物学者チャールズ・ダーウィンが遺した言葉であるが

岡本氏が会社の経営再建時に自身を鼓舞した際の言葉でもあり、  
多くの企業に対して突きつけられた言葉とも言える。

岡本氏は「日本の製造業は同じことをやっていたら絶対に生き残れない」と言う。

岡本氏は、ガラスでなければできないことを探す。

自らもあらゆることに好奇心と興味を持ち、ガラスが持つ様々な可能性を考え、

そこへ更なる価値を付けてより魅力的なガラスにしていく。

技術的なことだけではなく、何に應用できるかといった次の分野までをも見つけることに集中する。

そのために、岡本氏は忙しい業務の合間をぬって今でも可能な限りの読書をするようにしている。

かつて作家・城山三郎が「読書という基礎がないと、情報の洪水に流される」と語ったが、

著しい量の情報が溢れる現代社会では、これまで以上に情報選択リテラシーが重要になってきている。

その基準となる知識の多くを本から得ているのだ。

さらに重要なのは、自分なりに咀嚼し、自分ごととして糧にすることであると云う。

\* 第三成長期をもたらすガラスの可能性

岡本氏は未来を創る硝子の可能性について以下の点について述べている。

- ・まず偏光機能を持つニューガラス。

これは岡本硝子が持つコアコンピタンスのひとつである「硝材開発技術」を使って開発したもので

「耐熱性」「耐候性」「長寿命」という条件を満たし固体光源プロジェクターや自動車前照灯用のレンズなどに使われ、また更なる技術進歩が進めば、新たに開発中の“ホログラム”はスマートグラスに使われる様になり、そうすると、スマホの画面が眼鏡に映され、それは、歩きスマホが無くなりことを意味する。

ホログラムの次なる応用が、「Holo-Window（発電する硝子）」である。

これは採光型発電、すなわち窓ガラスにホログラムを張り付けるだけで発電できるようになるというもので

これによって“いつでも”“どこでも”“発電が可能になる時代”が出現する。

さらに「光ファイバーと通信」「光導波路」「光スイッチ」「非線形光学素材」等々の分野にニューガラスが使われ、光コンピュータの世界が広がる。

そうなれば情報処理速度は、従来の電子コンピュータの100万倍にも達する。

このように「ニューガラス」には限りない可能性がある。

\*岡本毅の言葉 一人ではない

「会社を絶対に潰してはいけない」と独りもがき苦しんでいた岡本氏が、2007年(平成19年)11月22日に妻の雅枝さんからもらったメールの全文を記す。

京都の五重塔にある心柱を知っていますか？

建物の中心にあるこの心柱のおかげで地震の時も倒れず、  
今日まで美しい建物が残っているそうですが、  
中心となる「人」に対しても、この言葉を使うそうですね。  
なるほど、何にも芯となるものが必要なのですね。  
しかし、心柱だけが残っても五重塔は美しくありません。  
それぞれが見事な調和で在るからこそ意味があるのでは、と思います。  
お互いが補い合ってバランスを保つところは、人間社会にも通じます。

・ジャック・ウェルチの『わが経営』の巻頭にこうあります。

『数十万人の社員に捧げる。』

その知恵と努力のおかげで私はこの本を世に出すことができた』  
何気なく読んでいた箇所ですが、とても重い言葉だと思いました。

あれほどの人であるからこそ、  
感謝の言葉と、自分は一人の力ではないという言葉が出たのでしょう。  
家族や友人知人、そして社員の助けがあったからこそここまでこられた。  
決して一人ではないということ。  
確かにトップは孤独で、大変な時もあると思いますが、  
黙々と日々作業に打ち込み仕事をこなしている人達は、  
暗黙のうちにトップを信頼し、また、トップは、その信頼に応えるべく、  
より良い環境に皆を引っ張っていくのが努めだと思います。  
決して、一人ではありません。  
家族や友人はもちろん、

知恵と努力を持ち合わせた社員の厚い信頼のもと行動をしているのです。

自信を持ってください。

だから、トップには、オーラがあるのです。

ちよっと「気」を送りました。

—雅枝—引用終わり

\*岡本毅の言葉 岡本硝子へ贈る言葉

岡本氏は

「組織は同じ方向を向き、交わらないけれどもできるだけ同じ方向のベクトルを持ち、同じ目標に向かって進むことが理想」だという。

- そのために、岡本氏が常に職員に言って聞かせている言葉が2つある。

「難しいことを易しく、易しいことを深く、深いことを面白く」

「成功の反対は『失敗』ではなく『何もしないこと』」

• 前者は、複雑な問題を分かりやすく説明し、基本的なことを深く掘り下げ、そして深い知識や技術を楽しく学べるようにすることの大切さを示している。

目的は、知識の伝達を効果的にし、学習のモチベーションを高めることだ。

こうすることで、チームや組織は難題に対する新たな解決策を見つけ、

イノベーションを促進しやすくなる。

・後者は平易な言い方をすれば「チャレンジせよ」ということなのだが、  
試みることでのみ、成長と学習が促され、結果として成功への道が開かれる。  
この視点は、革新と前進を促す精神を育むために不可欠である。

執筆：(株)I&C・HosBiz センター   はやぶさ編集長 岩下 一智

いかがでしたでしょうか？

以上を持ちまして好評を持ちました

世界シェアトップを誇る岡本硝子(株)の挑戦

岡本硝子株式会社

第三代代表取締役社長 岡本毅氏

の連載は終了いたします。

次号からは

■中小企業経営者列伝、第11弾。4回シリーズ

若き社長の「理念経営」の実践事例

自ら気づいて独学で築き上げた「理念経営」**実戦**の道筋

有限会社ゼスト



代表取締役 佐藤 大輔氏

の第 1 回をお届けいたします。

どうぞお楽しみに！

■好評御礼プレゼント企画！  
応募された方、全員に

岡本硝子物語

岡本毅の 21 世紀はガラスの時代！

「財界」2019/1/1～2/26（5 回連載記事）切り抜き編集  
の PDF 版をプレゼントいたします。

ご希望の方は

メールアドレス：kazu\_zohan@hosbiz.net

まで、件名に「プレゼント希望」と書いてお送りください。

Mail は埋もれてしまう可能性があるのでフィルタリングしています。

「プレゼント希望」の文字は必ずご記入ください。

~~~~~

■参考図書■Amazon 電子書籍

合本主義「義利合一」の時代がきている

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

*著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~  
本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

[heart\\_gaia\\_gi@hosbiz.net](mailto:heart_gaia_gi@hosbiz.net)

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を
よろしくをお願いします。

■中小企業経営者列伝、第11弾。4回シリーズ

若き社長の「理念経営」の**実戦**事例

自ら気づいて独学で築き上げた「理念経営」**実戦**の道筋

有限会社ゼスト

代表取締役 佐藤 大輔氏

の第1回は、

第637号 24・02・09（金）にお送りいたします。

なお内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、

私たちは「世のため・人のため」になれない。

とクルー一同尽力しております。

■平本靖夫、50年の経営支援家人生の集大成 第1弾！

『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！ 2000円

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。

では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・・・・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・・・・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・・・・・・岩下一智・(株) I&C・HosBiz センター 執行役員

マーケット・クリエーター(MRC)・・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#inoue>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC